日本都市情報学会通信

日本都市情報学会事務局　　〒190 東京都立川市曙町２－13－３　立川三菱ビル
TEL.0425(21)4191　FAX.0425(21)4193　　振替　東京 6-92037

☆第９回全国大会盛会裡に終了☆

大会実行委員長　松本欣二（常葉学園浜松大学）

日本都市情報学会では第８回全国大会を去る1994年10月24日(月)、25日(火)の２日間にわたり、統一テーマ「広域行政と地域情報通信基盤の整備」のもとに、浜松市アクトシティ・コングレスセンターを会場として開催しました。

基調講演、特別講演のほか、シンポジウム、ワークショップ、研究発表（自由論題）の各セクションに分れ、講演、パネルディスカッション、発表が行われ満員のフロアーの参加者達とも活発な討論が行われ、また、第１日目の夕方からは浜松名鉄ホテル芙蓉の間を会場として懇親会が盛大かつ和やかに行われました。

10月24日（月）　午前

〈基調講演〉　司会　宮崎　緑（東京工業大学）

「広域行政を支える地域情報化政策の推進」

浜松市長　　栗原　勝

「情報自由化時代の課題」

中央大学教授　　辻井　重男

学会誌（第８号）論文の投稿募集のお知らせ

「日本都市情報学会学会誌第８号」への研究論文の投稿を募集します。研究論文は、編集委員のもとレフェリー制度により審査され、採用されたものは「研究論文」として掲載されます。投稿は常時受け付けていますが、第８号掲載分については、次の通りです。

1. 投稿希望申込締切　1995年３月末　必着
2. 投稿希望申込方法　当学会事務局にハガキで、標題、氏名、連絡先住所、電話番号、枚数（400字詰）を記入して申し込む
3. 投稿締切日　1995年６月末日（厳守）

10月24日（月）　午後

〈A系列　シンポジウム（A－1）〉

「広域行政における地域情報システム整備の基本課題」

座　　長：松行　康男　（東洋大学）

北大路　信郷（静岡県立大学）

パネリスト：「広域行政における地域情報システム整備の基本課題」

柴田　啓次（千葉経済大学）

「広域行政における地域情報システム整備の基本課題」

柿沼　茂　（自治省）

「地域連携を模索する飯伊広域圏の課題と地域情報化」

知久　一彦（飯伊広域行政組合）

〈A系列　シンポジウム（A－2）〉

「地域産業振興と情報通信システムの整備」

座　　長：竹村　憲郎（専修大学）

坂本　光司（常葉学園浜松大学）

パネリスト：「地域産業振興と情報通信システムの整備」

豊田　兼雄（通産省）

「小さなネットワークを数多く育てること」

菅原　昭　（新潟県工業技術センター）

☆第10回全国大会研究発表（自由課題）公募のお知らせ☆

第10回全国大会（'95年9月13日、14日）での自由論題による会員の研究発表を下記の要領で募集します。

◇応募方法：下記の発表区分、研究論題、報告概要（100字程度）、発表希望日時、氏名、所属、連絡先を記載し、大会実行委員会事務局まで'95年4月末日必着でご郵送またはＦＡＸでお送りください。

〔発表区分〕①研究発表　②事例研究　③事例発表　④論文発表

◆問合せ、提出先：本学会大会実行委員会事務局

〒170　東京都豊島区東池袋3-16-3アーバンネット池袋ビル

ＩＳＮエンジニアリング株式会社第二システム事業部内

日本都市情報学会大会実行委員会事務局

TEL. 03(5992)2277　FAX. 03(5992)6566

「地域産業振興と情報通信システムの整備」
坂本　道雄（㈱日本オートメーション）

〈B系列　ワークショップ（B－1）〉
「情報システムの進展による行政事務の広域的処理」
座　　長：千歳　壽一（お茶の水女子大学）
問題提起：茶谷　達雄（東京経営短期大学）
パネリスト：「豊田町地域カードシステムへの展開」
芥川　豊秋（静岡県豊田町）
「福岡都市圏情報ネットワークの推進」
永松　大悦（福岡市）
コメンテータ：菊池　康夫（宇都宮市）

〈C系列　研究発表・自由論題（C－1）〉
座　　長：原田　行男（福井県立大学）
高橋　義朗（大阪市立大学）
発　　表：「地域データベースの展開と課題」
若尾　暢宏（社会情報システム研究所）

学会誌（第８号）原稿の投稿募集のお知らせ

「日本都市情報学会学会誌第８号」への投稿を募集します。投稿ご希望の方は、６月末までに、事務局まで所属・氏名・投稿区分・題目をＦＡＸまたはハガキでお申し込みください。

①論説　②研究発表　③事例発表　④研究ノート　⑤書評　⑥「会員の声」　⑦「おもしろ都市情報学」

注(1) ①～④については次によります。
ワープロ作成原稿を原則とし、Ａ４版（縦使い）　１行22文字×38行　20枚程度（図表を含む）
手書き原稿の場合は、横書き原稿用紙 200字詰　80～85枚程度
(2) ⑤については、ワープロ作成原稿（同上様式）　２～４枚
(3) ⑥、⑦については、本号末尾の「学会事務局だより」を参照

◆原稿提出期限　：1994年９月末日（期日厳守）
◆問合せ、提出先：本学会事務局　TEL. 0425(21)4191　FAX. 0425(21)4193

「情報化によるオフィス環境の調査研究」
五藤　寿樹（聖徳大学）
「地域選挙における情報流通のあり方からみた情報システムに関する研究」
手島　健治（東京工業大学）

〈記念講演〉　司　会：秋山　穰（桜美林大学）
「地方分権における自治体行政のあり方」
持永　尭民（(財)地方自治情報センター理事長）

10月25日（火）　午前
〈A系列　シンポジウム（A－3）〉
「生活圏の広域化に対するコミュニティネットワーク整備の現状と課題」
座　　長：林　茂樹　（中央大学）
内村　修三（東京都）
パネリスト：「公共施設案内・予約システムの拡充整備」
津田　藤男（福岡市）
「山梨県における図書館情報ネットワークシステム」
千野　国弘（山梨県）

会員募集のお願い

本学会は1985年９月28日設立以来、本年度をもって10年が経過することになります。
これを期して本学会では学術会議の登録団体をめざし、担当理事を設定いたしました。これを期に一層の増員を考えております。会員各位のお知り合い等で適当な方がいらっしゃいましたらご紹介賜りたいと存じます。
また、賛助会員についてもご紹介賜れればと存じます。
ご紹介は、下記の本学会事務局に電話・ＦＡＸ・ハガキ等でご連絡下さい。ご連絡いただき次第、本学会からご案内させていただきます。

日本都市情報学会事務局　〒190　東京都立川市曙町2-13-3　立川三菱ビル
TEL. 0425(21)4191　FAX. 0425(21)4193

「北茨城市民カードシステム」
宇佐美　克彦（北茨城市）

〈B系列　ワークショップ（B－2）〉
「自治体職員の手作りによる地域情報化構想の策定」
―三鷹市の事例発表を中心として―
座　　長：田村　紀雄（東京経済大学）
清原　慶子（日本ルーテル神学大学）
問題提起：掘添　健・歓崎　喬（三鷹市）
コメンテータ：田熊　伸好（アンダーセンコンサルティング）
吉井　史郎（日本ＩＢＭ）

〈C系列　研究発表・自由論題（C－2）〉
座　　長：草鹿　庸次郎（常葉学園浜松大学）
発　　表：「情報化が及ぼす経済・社会の変動」
成沢　広行（桜美林大学）
「街づくりにおける情報交流の場としての電子コミニケーションの利用」
藤田　浩明（東京工業大学）
松井　啓之（東京工業大学）
「モデリング支援ソフトウェアを用いた実用型総合計画シュミレーターの開発」
兼田　敏之（愛知県立大学）

〈特別講演〉
座　　長：望月　仁　（明星大学）
村上　幸栄（東京都）
「地域経済構造の変革とネットワーク」
坂本　光司（常葉学園浜松大学）
「田辺市における第三セクターを活用した地域高度情報化の推進」
梅原　孝夫（㈱テレコムわかやま）

「行政情報化と地域情報化の創造的展開」
市川　信一（府中市）

10月25日（火）　午後
〈A系列　シンポジウム（A－4）〉
「広域化と地域情報通信基盤整備の課題」
座　　長：辻井　重男（中央大学）
前田　隆正（ジャパンシステム）
パネリスト：「新たな情報通信基盤の整備」
竹田　義行（郵政省）
「マルチメディア時代に向けたＮＴＴの取り組み
―マルチメディア通信の共同利用実験―」
高部　豊彦（ＮＴＴ）
「自治体ネットワーク事業の現状と課題」
村木　朗　（浜松市）
「米国の情報スーパーハイウェイ構想と市民ネットワーク」
辻井　重男（中央大学）
竹田　義行（郵政省）

〈B系列　ワークショップ（B－3）〉
「広域行政情報システムの展開」
座　　長：茶谷　達雄（東京経営短期大学）
椎名　勤治（台東区）
パネリスト：「広域圏のどの市町村からも住民票を交付」
武井　政喜（諏訪広域市町村窓口事務協議会）
「コンピュータの共同利用による広域行政の展開」
山内　豊彦（福井坂井地区広域市町村圏事務組合）
「自治体行政における広域的情報システムについて」
島崎　和男（府中市）
コメンテータ：野田　英志（アンダーセンコンサルティング）

〈C系列　研究発表・自由論題（C－3）〉

座　　長：谷村　秀彦（筑波大学）

　　　　　岡部　篤行（東京大学）

発　　表：「都市内転居行動のＧＩＳによる分析」

石橋　健一（東京工業大学）

五十嵐　寧史（東京工業大学）

山口　直人（宇都宮市）

福渡　毅志（フジタ工業）

「半透明ごみ袋の普及過程におけるメディアの果たす機能に関する研究」

松井　啓之（東京工業大学）

鈴木　克幸（東京工業大学）

「生涯学習システムなど高齢者生活介護支援に対する地域情報通信基盤の整備活用について」

大島　章　（日立製作所）

越智　利夫（明星大学）

〈特別事例発表〉

座　　長：小出　治　（東京大学）

　　　　　篠崎　徳量（愛知女子短期大学）

発　　表：「マルチメディアを活用した秋川キララホールの運営」

二ノ宮　和寛（秋川市）

「電脳倉庫による高度文書情報管理システム」

渡部　徹（社会情報システム研究所）

「マルチメディアによる地域市民フォーラム情報ネットワークシステム」

梅原　壽夫（東洋オフィスメーション㈱）

「クライアント・サーバシステムの全国ネットワーク化」

森　正樹　（第一生命保険相互会社）

〈総括シンポジウム〉

座　　長：秋山　穣　（桜美林大学）

パネリスト：松行　康夫（東洋大学）

茶谷　達雄（東京経営短期大学）

竹田　義行（郵政省）

柿沼　茂　（自治省）

渡邊　定弘（静岡県）

〈閉会式〉

総括と挨拶　　日本都市情報学会会長　秋山　穣（桜美林大学）

なお、上記の各発表及び講演の概要は「大会予稿集」としてまとめられています。残部があり、実費頒布（1,000円送料別）しておりますので事務局までお問い合わせ下さい。

☆日本都市情報学会学会誌☆

日本都市情報学会学会誌を、会員外でご必要な個人及び機関の方には、第１号、第２号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号ともに2,000円（送料とも）で頒布していますので、事務局までお申出ください。

（事務局）